

山行報告書

作成:2013年5月6日

愛知岳連 岡崎山岳会

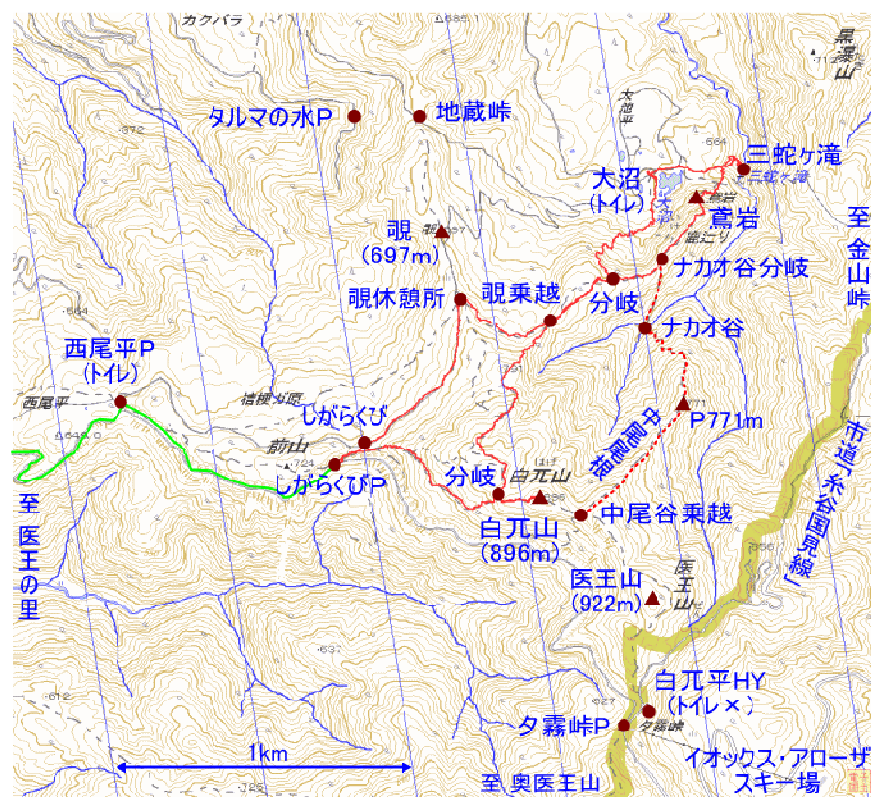
山名[山域]	医王山[920m]	目的[方法]	白山を展望する静かな山旅
期間	2013年4月29日(月)	形態	日帰りハイキング(山麓テント泊)
参加人数	4人		

行動記録:

◆4月29日(月):3日目晴れ

TS2起床(500,656)=(0:04)=しがらくびP(700,719)-(0:27)-分岐(746)-(0:08)-白兀山(754,808)-(0:05)-分岐(813)-(0:34)-視乗越(847)-(0:10)-分岐(857)-(0:28)-大沼(925,944)-(0:08)-分岐(952)-(0:03)-三蛇ヶ滝(955)-(0:08)-分岐(1003)-(0:30)-鳶岩(1033,1045)-(0:11)-ナカオ谷分岐(1056)-(0:05)-分岐(1101)-(0:09)-視乗越(1110)-(0:10)-視休憩所(1120,1200)-(0:14)-しがらくび(1214)-(0:04)-しがらくび P(1218,1228)=(0:30)=湯涌温泉「白鷺の湯」(1258,1406)=(0:44)=そば処「大藪」(1450,1520)=(0:15)=金沢西 IC(1535)=(1:30)=賤ヶ岳 SA(17:05,17:17)=(1:43)=上郷 SA(1900,1915)=(0:03)=豊田東 IC(1918)

概念図:



アプローチメモ:

- ◆ETC 料金
金沢西～豊田東:3000円〔休割〕
- ◆駐車場
西尾平休憩所:冬季閉鎖中
駐車場 14台
休憩所の中にトイレあり
水場なし
しがらくび駐車場:6台駐車可
トイレなし、水場なし
- ◆温泉
湯涌温泉「総湯白鷺の湯」:350円
銭湯にて石鹸、シャンプー、リンスなし
076-235-1380、7時～22時
- ◆蕎麦処「大藪」:
076-263-8505

日誌:

西尾平Pには、当車1台のみ。ここからは白山も展望できる。車でしがらくびPへ移動。すでに3台駐車している。木の階段を登ると西尾平から続く登山道に合流し、白兀山方面へ右折する。所々雪道となる。各分岐には道標が立ち距離も表示されている。山頂手前の小兀に着くと頭上が開け、金沢市街が展望できる。白兀山山頂には、石仏と展望台がある。展望台からは春霞で残念ながら展望が効かない。ここから、白兀山手前の分岐に戻り大池平方面へ右折する。視乗越までは残雪が多く、急坂で滑りやすい。トレースを頼りに歩く。夏道が出ると、新緑の中、エンレイソウ、キクザキイチゲが咲いている。残念ながらサンカヨウはつぼみ止まり。もう少しで花も見頃となる。次の分岐を左折し大沼へ向かい、鳶岩、ナカオ谷分岐と周回コースをとる。大沼はトイレ、ベンチがあり、本日のメイン鳶岩が見える。まずは、分岐を下り三蛇ヶ滝へ。立派な滝だが、さらに上方に目をやると急登の鳶岩を登っている人が…。不安が募る。もう一度分岐に戻り、鳶岩方面に向かう。かなり急な岩場を100m、30分かけて登る。鎖があり安堵するが、「三点確保」と呪文を唱えながら慎重に登る。鳶岩の上はとても登れないが岩場の上で小休止。さすがに展望は良かった。切り落した痩せ尾根を抜けると、普通の登山道に出る。視乗越まで戻り、視が気になり視を見に行く。視休憩所に着き、鳶岩を振り返り、金沢の市街地を展望ししばし休憩とする。ここから雪道の林道をしがらくびまで戻り、駐車場に着く。結局、視を見に行っただが、視(697m)までは行かなかったようだ。

何パーティかすれ違ったが、下山後西尾平Pはすでに満車。続々と車が上ってくる。ここも人気の山なのだろう。

感想:

もう少しで花の山、秋の医王山も良さそう。鳶岩をまた登ると思うと気が重いがまた来てみたい山である。

参加者名

